

ビジネスホームページ ご利用ガイド

＜本ガイドのご利用にあたって＞

「ビジネスホームページ」は、ご利用される法人様がご自身で、コンテンツの作成、FTPによるファイル転送などを行っていただくことが前提です。

従いまして、上記に関するサポートや本説明書の記載内容に関するサポートは弊社では致しかねますのでご了承ください。

株式会社NTTぷらら

はじめに

本ガイドは、簡易ホームページサービス「ビジネスホームページ」を利用されるお客様が、作成されたホームページのコンテンツをぶららの WWW サーバ上にアップロードする方法や、ぶらら定型 CGI のご利用上の注意事項についてご案内している参考資料です。

※ 「ビジネスホームページ」は、ご利用される法人様が、ご自身で、コンテンツの作成、FTP によるファイル転送などを行っていただくことが前提です。従いまして、上記に関するサポートや本説明書の記載内容に関するサポートは、弊社では致しかねますのでご了承ください。

<本ガイドで紹介している内容 >

1. ホームページのアップロード方法(FTPソフトの設定)について
2. ぶらら定型 CGI のご利用にあたって

注意事項

ホームページのアップロードは、インターネット接続環境のあるパソコンでご利用いただけます。(LAN 環境からの接続される場合は、LAN のネットワーク管理者にご相談の上、ご利用ください。)

お客様にご利用いただく FTP 用ログインID・FTP用ログインパスワードにつきましては、ぶらら送付の別紙「ぶらら法人会員ご登録内容」をご覧ください。

サーバ等の保守点検のため、随時システムメンテナンスを行っております。メンテナンス内容により一時サービスを停止させて頂く場合がありますので、予めご了承ください。

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本ガイドに記載されている内容・画面等は、2008年4月現在のものであり、それらは予告なく変更されることがあります。

お問合せ先

本ガイド記載内容に関するサポートは致しかねますので、ご了承ください

★法人向けサービスに関するお問合せは…

法人会員サービス担当

受付時間: 月～金 10:00～18:00 (土日祝日、年末年始除く)

Tel : 009192-123 (通話料無料)

03-5954-7257 (携帯電話・PHS・公衆電話・海外等通話料金お客様負担)

Fax : 03-5954-5357

E-Mail : houjin@plala.co.jp

◆ぷららホームページ : <http://www.plala.or.jp/>

◆法人向けサービスホームページ : <http://biz.plala.or.jp/>

◆学校向けサービスホームページ : <http://biz.plala.or.jp/school/>

Check!

ぷららの法人向け情報サイト

『**BUSINESS** ぷらら』を活用しよう!

URL は… <http://biz.plala.or.jp/>

ぷらら法人向けサービスの情報サイト「BUSINESS(ビジネス)ぷらら」では、
お客様に役立つ情報が満載です。お気に入りに追加して、ぜひご利用ください!

- アクセスポイントの障害・工事情報を知りたい!

障害・メンテナンス情報

<http://biz.plala.or.jp/support/mainte/index.html>

- ビジネス・生活に役立つホームページを探したい!

お役立ちサイト・リンク集

<http://biz.plala.or.jp/link/>

- 手続きやサービス内容に関して質問したい!

よくあるご質問(FAQ)

<http://biz.plala.or.jp/faq/index.html>

- 登録情報の追加・変更の手続き方法は?

登録情報の追加・変更

<http://biz.plala.or.jp/support/online-support/index.html>

1. ホームページのアップロード方法(FTPソフトの設定)について

お客様が作成されたホームページの、ビジネスホームページサーバ(WWW サーバ)へのアップロード方法を紹介します。なお、この作業のことを『FTP(ファイル転送)』といいます。

FTP で送る場合、WWW サーバ側に各会員様専用のディレクトリ(public_html)が用意されており、このディレクトリにファイルを置いたり、新たなディレクトリを作ったりできるようになっています。

<お客様のディレクトリについて>

(public_html)



index.html (サンプルページ)

※ 初期状態では、サンプルとして index.html が作成されています。アップロードで自由に書き換えてください。

※ トップページとするhtmlファイル名は、以下のどちらかにして下さい。(半角小文字)

・ index.htm

・ index.html

※ アップロードするファイル名は、半角英数字、“_ (アンダーバー)”、“- (ハイフン)”、“.” (ドット)”文字をご利用ください。

【 ご注意! 】 全角/半角に関わらず、日本語やスペースなどはファイル名に利用できません。また、全角の英数字も利用できません。

FTPソフトは、Windows では『FFFTP』、Macintosh では『Fetch』などがあり、他の FTP ソフトでも、ほぼ同じ設定方法でファイル転送ができます。また、ホームページ作成ソフトに備わっている FTP 機能も、同様の設定で利用することができます。

ここでは、ふらら「ビジネスホームページサーバ」へのファイルの転送方法を、『FFFTP(Windows 用)』、『Fetch(Macintosh 用)』という FTP ソフトを用いて説明します。

以下に代表的な FTP ソフトをご紹介します。各種操作方法の詳細は、それぞれのソフトのマニュアルを参考にしてください。

●Windows 用 『FFFTP』



<http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/servermt/ftp/ffftp.html> (窓の杜ダウンロード)
(左右分割型の日本語 FTP クライアント。ウィンドウ内左右にローカルディスク側とホスト側のファイル一覧を表示し、ドラッグ & ドロップや右クリックメニューなどの操作で転送できる。ホームページを一括転送できるミラーリング機能も備え、ローカル側のフォルダの変更内容をそのままホスト側に反映できるため、ホームページ転送専用ソフトのようにも使える。フリーソフト。)

●Macintosh 『Fetch』



<http://fetch.jp/> (日本語版公式ホームページ)
(Macintosh における定番 FTP ソフト。シェアウェア。)

●FTPの基本手順 –FTPソフトを用いた場合–

1. ログインID、パスワードを用い、ぷららへログインします。(インターネットへ接続します)
2. FTPソフトを起動します。
3. 接続する(ホームページのデータを転送する)サーバの情報を設定します。以下の項目が必要です。

Check!

別紙「ぷらら法人会員ご登録内容」をご覧ください

<各FTPソフトに共通の基本項目>

FTP サーバ名 (ソフトによっては「ホストアドレス」「サーバ名」「サーバアドレス」等の項目名称)	business* .plala.or.jp (注) *はお客様に割り振られたURL(サーバ名)により異なります <i>例) business4.plala.or.jp</i> ★独自ドメインをご利用の場合は、お客様のURLのwww以下がFTPサーバ名になります <i>例) www.XXXXX.co.jp</i>
アカウント (ソフトによっては「ログイン」「ユーザー名」「ユーザーID」等の項目名称)	ぷららからお送りした FTP 用ログイン ID
パスワード	ぷららからお送りした FTP 用ログインパスワード
初期ディレクトリパス	設定する必要はありません(空欄)

4. サーバに接続し、ホームページのデータをFTP(ファイル転送)します。
5. ブラウザで自分のホームページのURLを入力して正しく表示されるか確認します。

●『FFFTP』の初期設定

代表的な Windows 用 FTP ソフトの『FFFTP』の設定方法を説明します。

(3 ページの URL や雑誌の付属 CD-ROM などから『FFFTP』を入手し、HTML 文書を作成している Windows パソコンにインストールしておいてください。)

1. ぷららへログイン後、『FFFTP』を起動します。
2. 「新規ホスト」をクリックし、以下の画面例のように入力します。

Check!

別紙「ぷらら法人会員ご登録内容」をご覧ください

ホストの設定名	お客様任意で、わかりやすい名前を付けます 例) plala
ホスト名(アドレス)	business*.plala.or.jp (注) * はお客様に割り振られた URL(サーバ名)により異なります 例) business4.plala.or.jp ★独自ドメインをご利用の場合は、お客様の URL の www 以下が FTP サーバ名になります 例) www.XXXXX.co.jp
ユーザ名	ぷららからお送りした FTP 用ログイン ID 例) bizplala
パスワード	ぷららからお送りした FTP 用ログインパスワード
ローカルの初期フォルダ/ ホストの初期フォルダ	入力の必要はありません(空欄)

ホストの設定

基本 拡張 文字コード ダイアルアップ 高度

ホストの設定名(I) ホスト名(アドレス)(N)
plala business4.plala.or.jp

ユーザ名(U) パスワード/パスフレーズ(P)
bizplala ***** anonymous

ローカルの初期フォルダ(L) ...

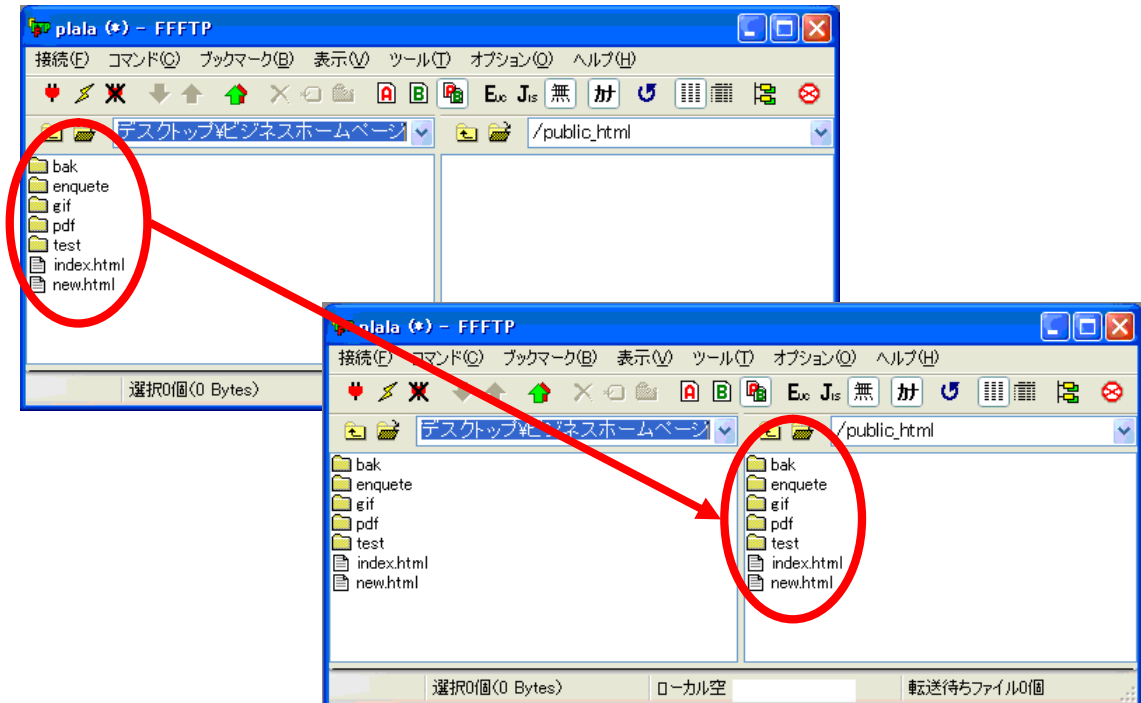
ホストの初期フォルダ(R) 現在のフォルダ

最後にアクセスしたフォルダを次回の初期フォルダとする(E)

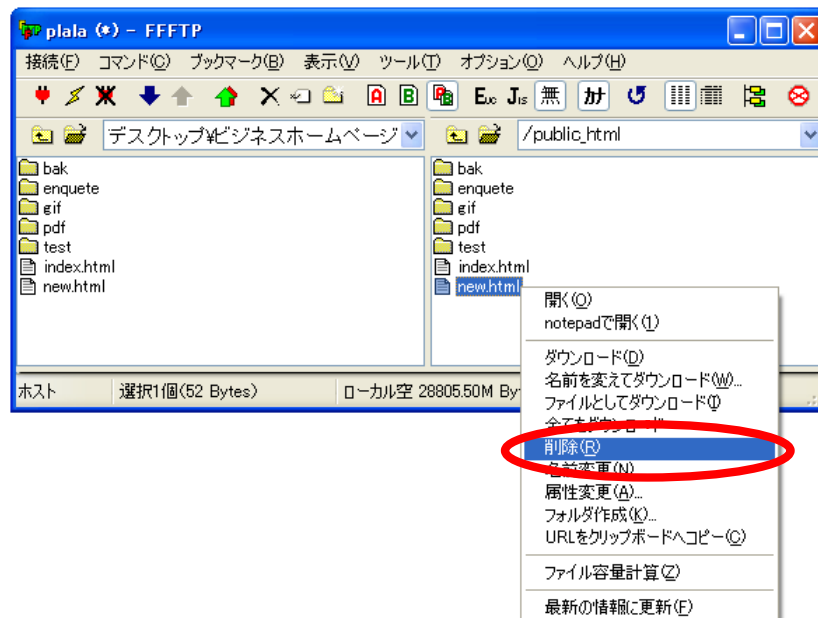
OK キャンセル ヘルプ

3. 「OK」ボタンを押して、次回接続するときのための設定を保存します。

4. 「接続」ボタンを押すと、サーバに接続を開始します。接続が確立されると、サーバ上のディレクトリの中身が表示されます。
5. お客様が作成されたホームページのファイルを、ドラッグ & ドロップで転送できます。



<参考>ファイルの削除



削除したいファイルを右クリックして選択し、「削除」を選ぶことで削除できます。

●『Fetch』の初期設定

代表的な Macintosh 用 FTP ソフトの『Fetch』(ver.3.0.3J2)の設定方法を説明します。

(3 ページの URL や雑誌の付属 CD-ROM などから『Fetch』を入手し、HTML 文書を作成している Mac パソコンにインストールしておいてください。)

1. ぶららへログイン後、『Fetch』を起動します。
2. メニューバーの「カスタム」から、「新しいショートカット...」を選択します。
3. 「ブックマークの編集」の画面が表示されますので、以下のように設定します。

名称	お客様任意で、わかりやすい名前を付けます 例) plala
ホスト(接続先)	business *.plala.or.jp (注) * はお客様に割り振られた URL(サーバ名)により異なります 例) business4.plala.or.jp ★独自ドメインをご利用の場合は、お客様の URL の www 以下が FTP サーバ名になります 例) www.XXXXX.co.jp
ユーザー名	ぶららからお送りした FTP 用ログイン ID
パスワード	ぶららからお送りした FTP 用ログインパスワード
ディレクトリ	入力の必要はありません(空欄)

ブックマークの編集

名称: plala

タイプ: フォルダ

ホスト(接続先): business2.plala.or.jp

ユーザー名: bizplala

パスワード:

ディレクトリ:

漢字コード: 無変換

キャンセル OK

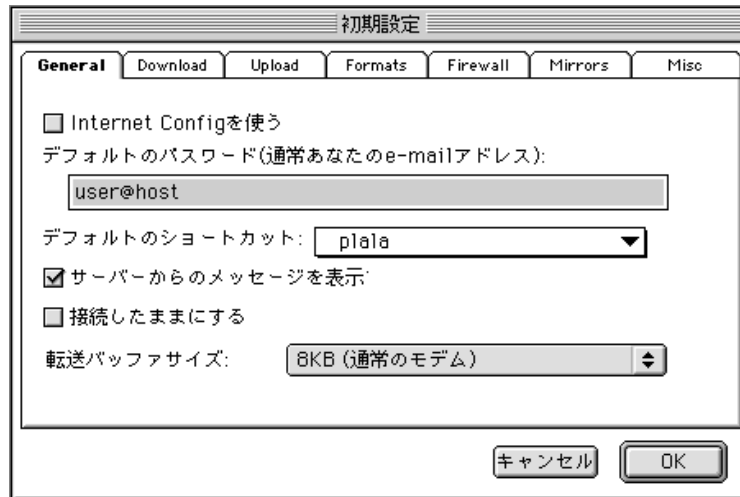
OK をクリックするとサーバに接続します。

4. メニューバーの「カスタム」から、「初期設定...」を選択します。
5. 「初期設定」の画面が表示されますので、「General」タブをクリックし、以下のように設定します。

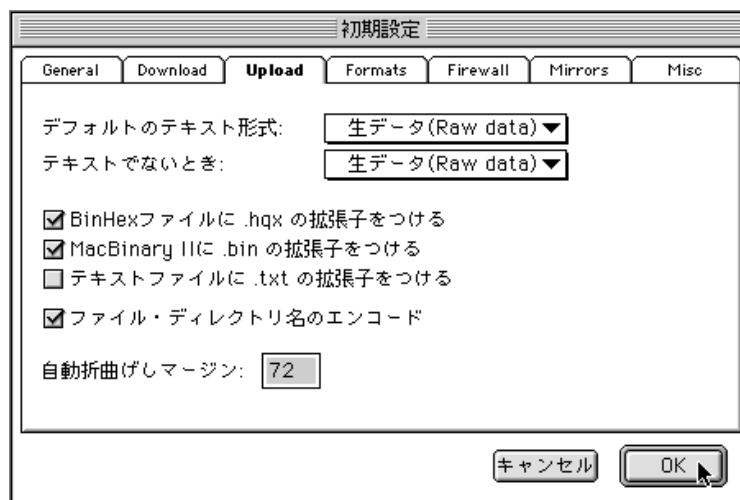
●「Internet Config を使う」のチェックを外します。

●「デフォルトのショートカット:」は、上記「名称:」で入力した名前を選択します。

その他の項目は任意で設定します。



6. 「Upload」タブをクリックし、以下のように設定します。



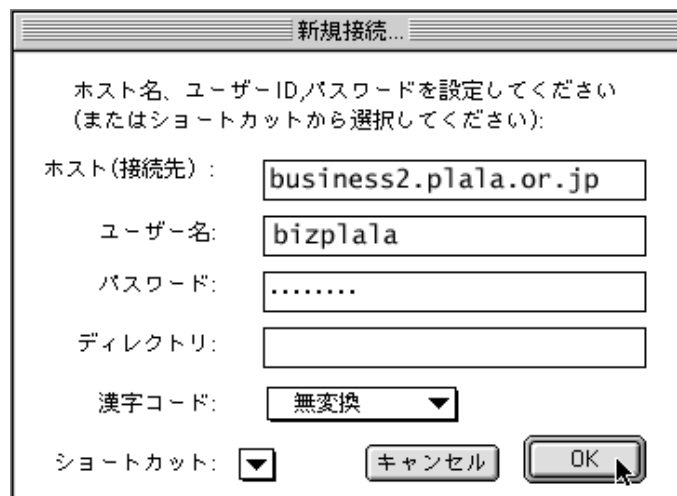
●「デフォルトのテキスト形式:」は、「生データ(Raw data)」を選択します。

●「テキストでないとき:」は、「生データ(Raw data)」を選択します。

その他の項目は任意で設定します。

「OK」ボタンをクリックして、入力した設定を保存します。

7. 次回起動時より以下のように「新規接続...」が表示されますので、「OK」をクリックし接続します。



8. 「Put(送信)...」ボタンをクリックし、ファイルを転送します。

定型 CGI の種類

ぶらら掲示板 CGI

掲示板に書き込まれた発言に関連した発言を階層的に表示します。なお、ぶらら掲示板はお客さまのホームページエリアに1つしか作成できません。

ゲストブック掲示板 CGI(簡易掲示板)

ゲストブック(簡易掲示板)は、異なるディレクトリにそれぞれ作成することが可能です。ゲストブックに書き込まれた発言は、発言時間順に表示されます(階層的な表示はされません)。

アクセスカウンタ CGI

アクセスカウンタは、作成したホームページに何回アクセスがあったかを表示します。アクセスカウンタは、ホームディレクトリだけでなく、任意に作成されたディレクトリにも設置可能です。

アンケート CGI

掲示板に書き込まれた発言に関連した発言を階層的に表示します。なお、ぶらら掲示板はお客さまのホームページエリアに1つしか作成できません。

メール送信 CGI

メール送信を使うことにより、細分化されたコメントを受信することができます。アンケートの代替として使用することができます。

アクセス制限 CGI

ディレクトリ毎にアクセス用のユーザー名とパスワードを設定できます。1つのディレクトリに複数の「ID とパスワード」を設定することが可能ですので、アクセスを許可する個人に「ユーザーID」「パスワード」を設定できます。

ぷらら掲示板 CGI

ホームページ上に簡単に掲示板機能がつけられます。メッセージを発言ツリーで表示したり、日付順に並べ替えて見ることもできます。

作成手順

STEP1	掲示板の自動生成を行う(画面の指示に従って自動的に作成できます)
STEP2	掲示板プレビューの確認
STEP3	掲示板の作成終了

STEP1 掲示板の自動生成を行う



左の「掲示板自動生成ページ」にて、< **掲示板新規作成** > < **掲示板修正** > < **投稿記事の削除** >などが行えます。

「ぷらら汎用掲示板自動作成」画面へ進む

★ビジネスホームページでぷららドメイン名をご利用の場合

<http://business1.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

<http://business2.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

<http://business3.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

<http://business4.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

★アカデミックサーバでふららドメイン名をご利用の場合

<http://academic1.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

<http://academic2.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

<http://academic3.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

<http://academic4.plala.or.jp/cgi/grrboard/index.html>

★ビジネスホームページもしくはアカデミックサーバで

独自ドメイン名をご利用の場合

<http://www.org-domain1.plala.or.jp/cgi/grrboard-o/index.html>

<http://www.org-domain2.plala.or.jp/cgi/grrboard-o/index.html>

<http://www.org-domain3.plala.or.jp/cgi/grrboard-o/index.html>

<http://www.org-domain4.plala.or.jp/cgi/grrboard-o/index.html>

「手順 1」アカウントネームとパスワード

アカウントネーム	あなたのホームページ用のFTPアカウントネーム(FTP用ID)を入力してください。(必須入力)
パスワード	あなたのホームページ用のパスワードを入力してください。 (必須入力)
メールアドレス	掲示板の上に管理者のメールアドレスを公開される場合は、あなたのメールアドレスを入力してください。

「手順 2」タイトル・サブタイトルの設定

掲示板タイトル	あなたのホームページにつける掲示板の名前を入力してください。(必須入力)
サブタイトル	あなたのホームページにつける掲示板のサブタイトル名を入力してください。
タイトル画像を URL で指定	あなたのホームページにつける掲示板にタイトルGIFを指定することができます。あなたの用意したタイトルGIFまでのパスを相対パスまたは絶対パスで指定してください。

相対パスの場合:あなたの掲示板のトップページは、以下の通り作成されます。、このindex.htmlを規準として相対で指定してください。

■サーバが business*の場合

”http://business*.plala.or.jp/あなたのアカウント名 /plalaboard/index.html”

■サーバが academic*の場合

”http://academic*.plala.or.jp/あなたのアカウント名 /plalaboard/index.html”

■独自ドメインの場合

”http://www.[独自ドメイン名]/plalaboard/index.html”

「手順 3」背景の設定	
-------------	--

背景色	あなたのホームページにつける掲示板の背景色を指定してください。
背景画像を URL で指定	あなたのホームページにつける掲示板に背景GIFを指定することができます。あなたの用意した背景GIFまでのパスを相対パスまたは絶対パスで指定してください。

背景色は RGB16 進数で指定することも可能です。RGB の入力欄に入力されている場合にはそちらが優先されますのでご注意ください。

相対パスの場合:あなたの掲示板のトップページは、以下の通りに作成されます。このindex.htmlを規準として相対で指定してください。

■サーバが business*の場合

”http://business*.plala.or.jp/あなたのアカウント名 /plalaboard/index.html”

■サーバが academic*の場合

”http://academic*.plala.or.jp/あなたのアカウント名 /plalaboard/index.html”

■ 独自ドメインの場合

”http://www.[独自ドメイン名]/plalaboard/indexhtml”

「手順4」文字の色の設定

タイトル、サブタイトルや投稿された内容を表示するテキストの色などを設定します。

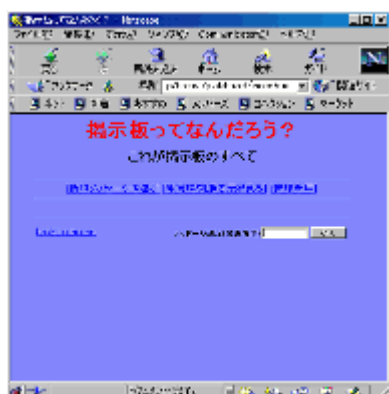
背景色は RGB16 進数で指定することも可能です。RGB の入力欄に入力されている場合にはそちらが優先されますのでご注意ください。

「手順5」戻り先 URL の指定

掲示板の下部に、戻り先の URL (リンク名とリンク先) を設定することができます。無記入の場合は、「back to home」という表記になります。また、リンク先を指定しなかった場合は、お客様のホームに戻ります。

すべての設定が終わったら、「掲示板プレビュー」ボタンを押下してください。

STEP2 掲示板プレビューを確認する



作成方法は簡単で、画面の指示にしたがって自動的に作成できます。(下の作成手順を参考にしてください)

「STEP1」で指定された内容が掲示板に反映されます。

→ 掲示板のデザインを確認してよろしければ、「決定」ボタンを押下してください。

→ デザインが気に入らない場合は、「決め直す」ボタンを押下してもう一度設定を行ってください。

STEP3 掲示板の作成終了

これであなたの掲示板が自動作成されました。

作成した掲示板は以下にありますので、確認してください。

■サーバが business* の場合

”http://business*.plala.or.jp/あなたのアカウント名 /plalaboard/index.html”

■サーバが academic* の場合

”http://academic*.plala.or.jp/あなたのアカウント名 /plalaboard/index.html”

■独自ドメインの場合

”http://www.[独自ドメイン名]/plalaboard/index.html”

あなたの掲示板の中に作成された index.html 等のファイルをカスタマイズされた場合は、正常動作しなくなる恐れがあります。もし、カスタマイズされる場合はご自身の責任において行ってください。

アクセス元のリファラ情報の参照がない場合、正常に動作しないことが確認できております。

ぶらら掲示板 CGI

掲示板 CGI を利用した掲示板より、さらに簡易な掲示板機能を持たせた CGI です。ツリー構造での表示はできません。すべてが発言順の掲載になります。

【ご注意】

アクセス元のリファラ情報の参照がない場合、正常に動作しないことが確認できております。

作成手順

STEP1	新しくディレクトリを作成する
STEP2	ゲストブックの自動生成を行う(画面の指示に従って自動的に作成できます)
STEP3	ゲストブックの設定を変更する／発言を削除する
STEP4	ゲストブックのデザインを変更する
参考	ゲストブックの利用例

STEP 1

ゲストブックは一つの新しいディレクトリを必要とします。FTPソフトを使用し、あらかじめ、自分のホームディレクトリの中に新しいディレクトリを作成しておいてください。

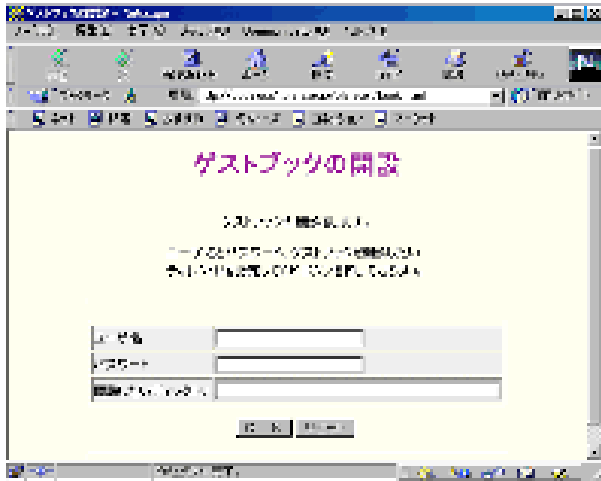
STEP 2

作成方法は簡単で、画面の指示にしたがって自動的に作成できます。(下の作成手順を参考にしてください)。

以下の「ゲストブックの開設ページ」にて、簡易掲示板を開設するディレクトリを指定します。

※ここでは、ご契約のホームページのユーザ名とパスワードを入力し、ゲストブックを開設したいディレクトリ(*)を指定します。

(注意) あらかじめ作成済みのディレクトリしか指定できません



「ゲストブック」の開設画面へ進む

★ビジネスホームページでふららドメイン名をご利用の場合

<http://business1.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

<http://business2.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

<http://business3.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

<http://business4.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

★アカデミックサーバでふららドメイン名をご利用の場合

<http://academic1.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

<http://academic2.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

<http://academic3.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

<http://academic4.plala.or.jp/plalacgi/book.html>

★ビジネスホームページもしくはアカデミックサーバで
独自ドメイン名をご利用の場合

<http://www.org-domain1.plala.or.jp/plalacgi/book-o.html>

<http://www.org-domain2.plala.or.jp/plalacgi/book-o.html>

<http://www.org-domain3.plala.or.jp/plalacgi/book-o.html>

<http://www.org-domain4.plala.or.jp/plalacgi/book-o.html>

ユーザ名 (必須入力)	あなたのホームページ用の FTP アカウントネーム (FTP 用 ID)を入力してください。
パスワード	あなたのホームページ用のパスワードを入力してください。
開設したいディレクトリ (必須入力)	STEP1 で新しく作成したディレクトリをここでゲストブック用ディレクトリとして指定します。

STEP 3 ゲストブックの設定を変更する／発言を削除する

ゲストブックの画面の下の「管理者用画面」というリンクをクリックすることで、ゲストブックの設定を変更したり、発言を削除することができます。

ゲストブックは、発言データを別のファイルに持っているため、HTML を書き換えて変更しても次の発言があったタイミングでもとに戻ってしまいます。必ずこの管理者用画面で削除するようにお願いします。

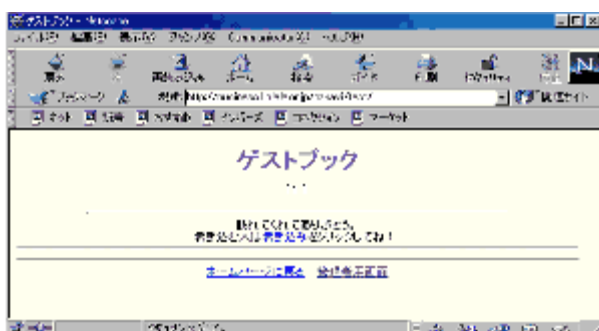
STEP 4 ゲストブックのデザインを変更する

デザインの変更は「どうしてもやりたい！」という場合だけにしてください。プログラムが必要とする記述を削除してしまったなど、最悪の場合は、ゲストブックが動かなくなる可能性があります。(わからない場合は実行しないでください)

メイン画面のデザインを変更するときは「formguest.html」の内容を書き換えてください。書き込み画面のデザインを変更するときは「addguest.html」の内容を書き換えてください。

ゲストブック利用例

ここではゲストブックへの書き込みができます。

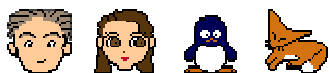


実際に書き込みをする画面です。記入例をいれてみました。

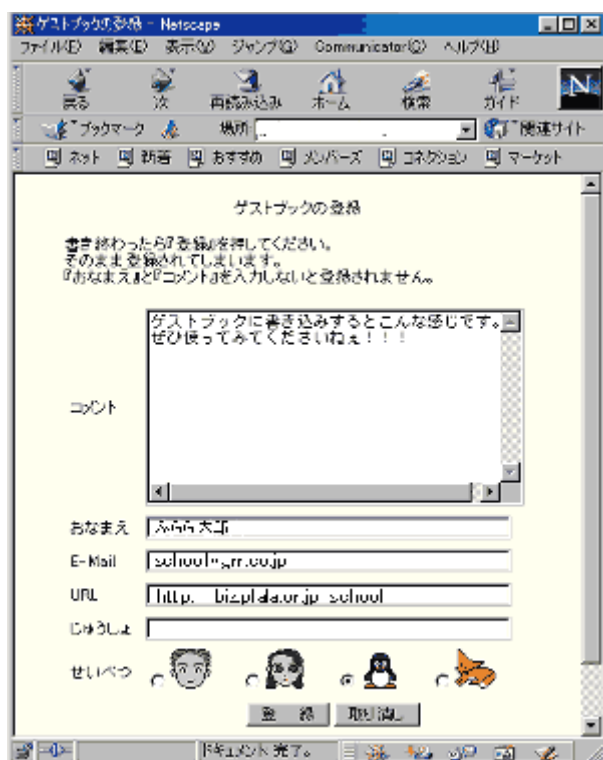
<ゲストブックに登録できる内容>

- コメント
- 名前
- 電子メールアドレス
- URL
- 住所
- あなたを表現するイメージキャラクター

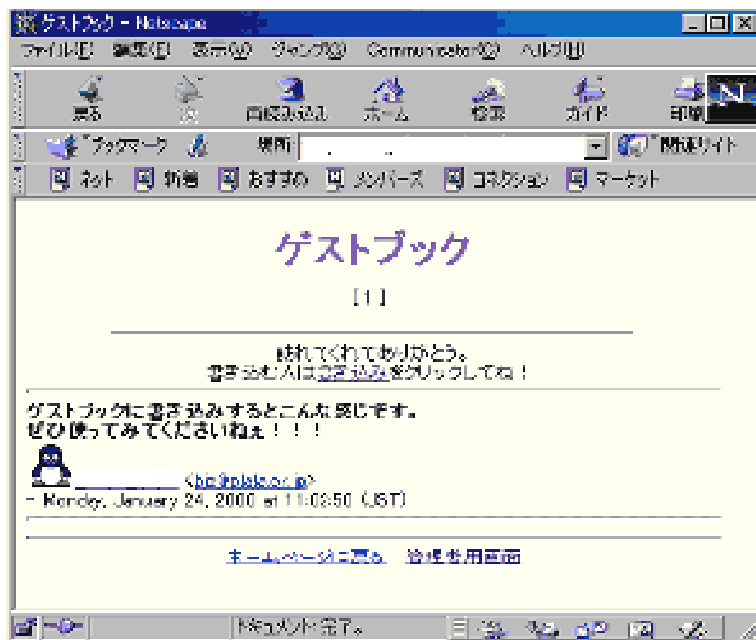
イメージは現在デフォルトで4種類あります



書き込みが終わったら画面の一番下にある「登録ボタン」をクリックして書き込みを完了します。



上記で書き込んだ内容は下記のように表示されます。



ぶらら掲示板 CGI

0 12345 0 1 2 3 4 6 0 1 2 3 4 6

ホームページの閲覧された回数をカウントします。アクセスカウンタが組み込まれたホームページが、Internet Explorer や Netscape Navigator 等に読み込まれるたびにカウントアップします。カウンターのデザインは 100 種類以上をご用意しており、各種のデザインからお好みのものをお選びいただいてカラフルなカウンターを設置することができます。

※ お好きな数字からカウントすることはできません。“0”からになります。

※ アクセス元のリファラ情報の参照がない場合、正常に動作しないことが確認できております。

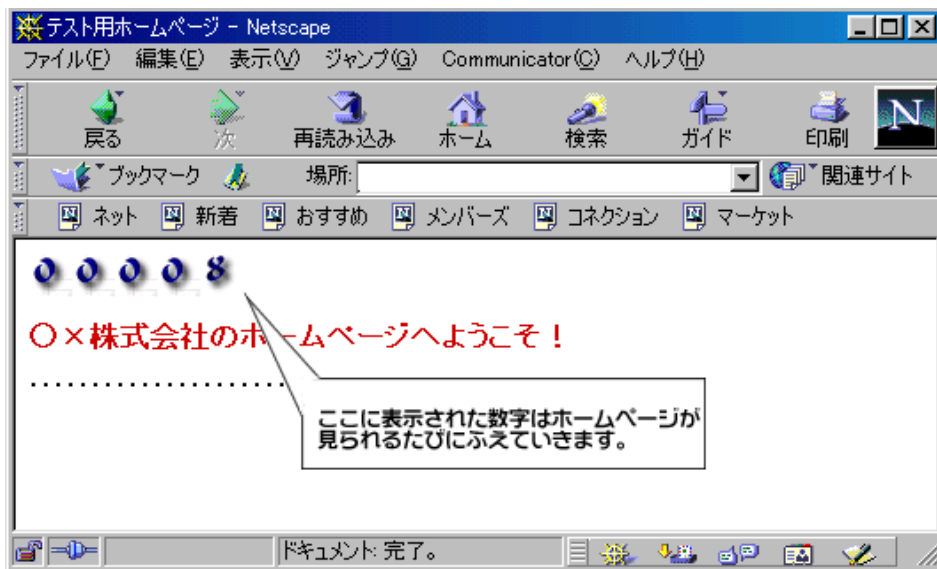
1.カウンターを設置したいページの HTML ファイル内にソースを記述する

ソース記述例

```
<html><head>
<title>テスト用ホームページ</title>
</head>
<body bgcolor="FFFFFF">
<!-- ここにカウンターをおきます
以下は例であり、実際の CGI での記述とは異なりますのでご注意ください---->

<!--カウンター終わり-->

<font size="+1" color="#CC0000">○×のホームページへようこそ！</font><br>
<br>
-----
<br>
</body>
</html>
```



オプション

以下の項目について、さらに追加で指定することができます。

オプション	指定内容	既定値 デフォルト値
df	キー項目	(必須)
dd	画像タイプ	デフォルト画像
ft	枠の太さ	6
frgb	枠の色	648bd8(この色)
md	桁数 5桁～10桁まで	6
pad	数値の表示の仕方 YまたはNで指定	Y
sh	カウンタの表示の有無 YまたはNで指定	Y
incr	カウンタの増加の有無 YまたはNで指定	Y
rotate	文字の回転の有無 YまたはNで指定	N
degrees	文字の回転の角度 90,180,270のいずれかを指定	270

どのように設定するか決まりましたでしょうか？ご希望の項目について、それぞれの設定を"|"でつないで指定してください。

(例)

```

```

df=キー項目(必須)

キー項目はアクセス数を管理するためのIDになります。他のお客様と重複することを避けるため、アカウントネームとファイル名を組み合わせたものにしていただきますようお願いいたします。

(例) 設置するURLが「http://business1.plala.or.jp/test/index.html」の場合 → 「df=test_index」

初めて作成したにも関わらず 0 ではない数字が表示される場合には、上記ルールに従っている場合でも、すでに他のお客様と重複していることが考えられますので、変更していただきますようお願いいたします。

キー項目が重複しない場合であれば、お客様毎に複数個のカウンターを設置いただけます。







なお、キー項目に使用できるのは半角英数字のみです。全角の漢字などは使用できません。

また、大文字小文字は区別されますので、ご注意ください。

dd=画像タイプ

好きなパターンの画像を選択することができます。指定されなかった場合は、デフォルトの画像が選択されます。(画像の例)

下記の img タグをそのままコピーし、「df=」で始まるキー項目だけ変更してご使用いただけます。

	デフォルトの画像	
	dd=smplst	
	dd=mgreen	
	dd=grnyelo	
	dd=tiny	
	dd=tinyred	

その他のパターン

画像タイプ一覧(100種類)の中から選んでください。

それぞれのサンプルの下に「ImageType:」と記述されている単語を「dd=」で指定することで画像パターンを選択していただけます。

サンプル画像 1 (25 種類)	サンプル画像 2 (25 種類)
サンプル画像 3 (25 種類)	サンプル画像 4 (25 種類)

ft=枠の太さ

カウンタの枠の太さを設定することができます。指定されなかった場合は、6 が指定されたのと同じこととなります。(5 以上で 3D っぽい効果が出ます)

frgb=枠の色

カウンタの枠の色を設定することができます。枠の太さを 0 にしている場合は設定不要です。指定されなかった場合は、青っぽい色になります。色の指定の仕方は 2 通りあります。

● 16 進数で指定する

赤→ff0000	緑→00ff00	青→0000ff
黄→ffff00	シアン→00ffff	マゼンタ→ff00ff
白→ffffff	黒→000000	

● 10 進数で指定する

赤→255;0;0	緑→0;255;0	青→0;0;255
黄→255;255;0	シアン→0;255;255	マゼンタ→255;0;255
白→255;255;255	黒→0;0;0	

md=桁数

5 桁から 10 桁の間で自由に決めることができます。桁数の指定がないときは 6 桁になります。pad=数値の表示の仕方 桁数固定で表示するか、フレキシブルに表示するかを指定します。指定のない場合は桁数固定で表示されます。

(例)7 桁を表示するカウンタで、現在の数値が 2456 であるとしします。

pad=Y の場合	pad=N の場合
	

sh=カウンタの表示の有無

「sh=N」と指定すると、カウンタを見えないようにすることが出来ます。指定のない場合は表示される設定になります。

incr=カウンタの増加の有無

「incr=N」と指定すると、カウンタを増えないようにすることが出来ます。指定のない場合は増加する設定になります。

「sh=」と「incr=」を組み合わせることで、ホームページを訪れてくださるお客様用の入り口ではカウンタを表示せず、そして、カウンタの数を確認するためのページを別に作り、そこではカウンタを表示し、かつ、カウンタが増えないようにするというようなことが出来ます。

rotate=文字の回転の有無

「rotate=Y」とすることでカウンタを回転させることが出来ます。指定の無い場合は回転しません。

degrees=文字の回転の角度

「rotate=Y」の場合の回転角度を指定します。指定の無い場合は回転しません。回転の値は90、180、270度の3種類を選ぶことが出来ます。

(例) 180度回転させた場合

「rotate=Y」かつ「degrees=180」



アンケート CGI

ホームページ上に入力欄を設置し、アクセスしてきた人に入力してもらったデータをサーバー上の自分のディレクトリ内に保存しておくことができます。

- ※ 独自ドメイン名をご利用する場合は設定が異なります。[こちら](#)をご覧ください。
- ※ アクセス元のリファラ情報の参照がない場合、正常に動作しないことが確認できております。
- ※ CGI呼出し元のhtmlがホームディレクトリ(public_html)以外でもCGIは動作しますが、設定ファイル(/config.set 及び thanks.html)は必ず、ホームディレクトリの下に設置いただきます。それ以外の場合は動作しません。
- ※ logファイルはホームディレクトリ配下に自動設置されます。アンケート利用ページが複数個あっても動作はしますが、logファイルはひとつのみです。

作成手順

STEP1	ご自分のホームディレクトリの中に、必ず「config.set」という名前の設定ファイルを作成してください。
STEP2	ご自分のホームディレクトリの中に、アンケート受付完了を表示するためのHTMLファイルを作成します。(例:thanks.html)

STEP3	ご自分のホームディレクトリ内にアンケート用 HTML を作成してください。
参考	入力されたデータの確認方法

1.『config.set』ファイルを作成する

必須入力の項目を設ける場合、指定した入力欄が空白で送信されようとした時に表示されるエラーメッセージの HTML ファイル (config.set ファイル) を作成し、ホームディレクトリに置いてください。

<例>氏名を入力必須項目とする。未入力の場合、「お名前への入力必須です」とエラー表示させる。

→氏名の項目の NAME 属性(項目名)は『user_name』と指定。(HTML 解説参照)

→『config.set』の記述は以下のようになります。

書式は、左から、「入力必須項目」「check」「エラーメッセージ」です。(必ず**半角の空白**で区切ってください)

config.set
user_name check お名前への入力必須です

入力必須項目を指定しない場合も、『config.set』ファイルは必ず作成してください。その場合は改行のみの空のファイルで結構です。

ファイルの最後は改行で終わるようにしてください。きちんと改行していない場合、エラーメッセージが文字化けすることがあります。

設定ファイルの改行コードは UNIX 用の「LF」になっていないとうまく動作しないようです。FTP する場合、必ず「ascii モード」にしてアップロードし、改行コードが「LF」に変換されるようにお願いします。

ラジオボタン、チェックボックスの場合には有効になりませんので、ご注意ください。

2.アンケート受付完了を表示するページを作成する

次に、ご自分のホームディレクトリの中に正常終了した場合に表示されるメッセージの HTML を作成し、ホームディレクトリに置いてください。

ファイル名・記述内容などは任意ですが下記に例を示します。

<例> アンケート終了後、「ご回答ありがとうございました。」と表示させる。ファイル名は『thanks.html』とする。

thanks.html
<pre><HTML> <BODY bgcolor="#FFFFFF"> <CENTER> <H1>ご回答ありがとうございました。</H1> 戻る </CENTER> </BODY> </HTML></pre>

3. アンケート入力に必要な HTML ファイルは以下のように記述します

<例> アンケート終了後、「ご回答ありがとうございました。」と表示させる。ファイル名は『thanks.html』とする。

ソース記述例

```
<HTML><HEAD>
<TITLE>アンケート</TITLE>
</HEAD>
<BODY bgcolor="#CCFFFF">
```

<!-- [ここにアンケート CGI を起動するための記述をします。](#)

以下は例ですので実際の CGI での記述とは異なりますのでご注意ください-->

```
<FORM METHOD="POST"
ACTION="http://business1.plala.or.jp/cgi-bin/plalaform.cgi">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="config" VALUE="/****/config.set">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="back" VALUE="/****/thanks.html">
```

<INPUT TYPE="hidden" NAME="log" VALUE="myform.log">

<!--起動するための記述はいったん終了します-->

<!--[アンケートページ表示部分の記述開始](#)-->

〇×株式会社のホームページへようこそ！

アンケートにお答えください

<P>名前<INPUT TYPE="text" NAME="user_NAME" size=30>

<P>メールアドレス <INPUT TYPE="text" NAME="e-mail" size="30">

<P>ご意見 <INPUT TYPE="text" NAME="iken" size="30">

<!--[送信ボタンを指定](#)-->

<INPUT TYPE="submit" VALUE="送信">

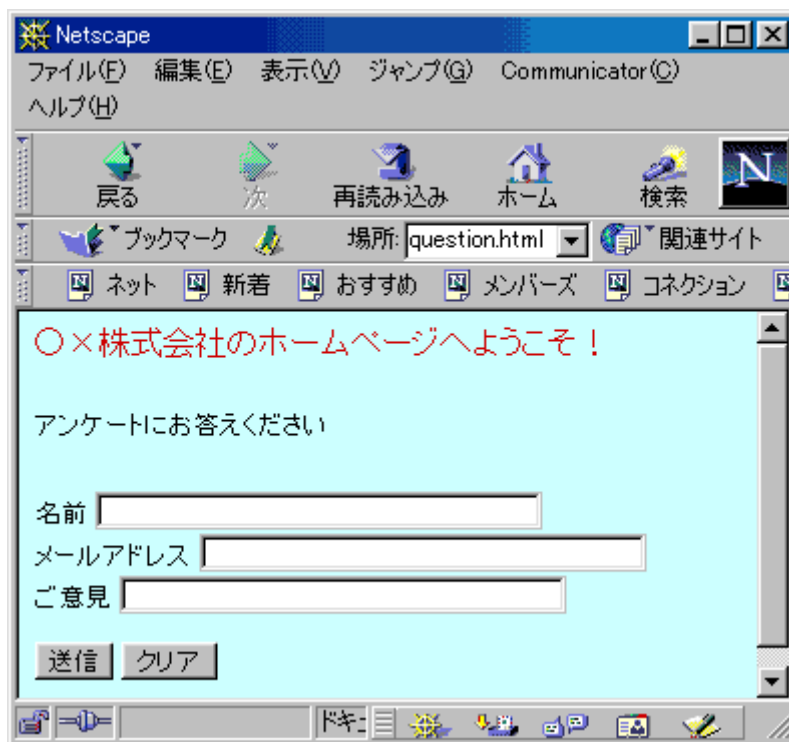
<INPUT TYPE="reset" VALUE="クリア">

<!--アンケート CGI の終了を宣言します-->

</FORM>

</BODY>

</HTML>



上記の通りに記述をした HTML ファイルはブラウザで見ると以下のようになります。

HTML 解説<以下の項目をチェックしてください>

<FORM METHOD="POST"

ACTION="http://business1.plala.or.jp/cgi-bin/plalaform.cgi">

この部分は CGI の置き場所を指定しています。

business2.plala.or.jp 、business3.plala.or.jp 、business4.plala.or.jp

をご利用の場合は適宜、 business1.plala.or.jp の記述を置き換えてください

【注意】academic サーバをお使いの場合は以下のとおりとなります。

<FORM METHOD="POST" ACTION="http://academic1.plala.or.jp/cgi-bin-ac/plalaform.cgi">

この部分は CGI の置き場所を指定しています。

academic2.plala.or.jp 、academic3.plala.or.jp 、academic4.plala.or.jp

をご利用の場合は適宜、 academic1.plala.or.jp の記述を置き換えてください。

<INPUT TYPE="hidden" NAME="config" VALUE="/***/***/config.set">

この部分は上記の [STEP1](#) で用意した設定ファイルを指定しています。「*****」の部分はご自分のアカウントネーム(ディレクトリ名)に変更してください。

```
<INPUT TYPE="hidden" NAME="back" VALUE="/*/*/thanks.html">
```

この部分は上記の [STEP2](#) で用意した正常終了時に表示される HTML ファイルを指定しています。「*****」の部分はご自分のアカウントネーム(ディレクトリ名)に変更してください。

```
<INPUT TYPE="hidden" NAME="log" VALUE="myform.log">
```

この部分は入力結果が蓄積されるログファイルを指定しています。

```
<INPUT TYPE="text" NAME="user_NAME" SIZE=30>
```

この部分で「入力欄」の形式と名前とサイズを指定しています。TEXT 形式だけでなく、CHECKBOX、RADIO など HTML で定義された全ての FORM の機能が使用できます。また好きなだけ増やすことが可能です。詳しくは HTML の参考書などをご参照ください。

```
<INPUT TYPE="submit" VALUE="送信">
```

```
<INPUT TYPE="reset" VALUE="クリア">
```

この部分で「送信」「クリア」のボタンを定義しています。「クリア」ボタンはなくてもかまいません。

<参考> 入力されたデータの確認方法

ご自分のディレクトリの直下に「myform.log」という記録ファイルが作成され、実行ボタンが押されるごとに1行ずつ追加保存されます。

集計は、FTP でダウンロードすることで内容を確認することができます。フォーマットはカンマ区切りテキストです。始めに日付が挿入され、その次からフォームの記述順に = でつながれて並びます。

アンケート CGI

ホームページ上に入力された内容を、指定のメールアドレスに送信することができます

※ アクセス元のリファラ情報の参照は必要としていません。

STEP1	メール送信 CGI を起動するためには、メール入力フォームの HTML に指定されたソースを記述します。
参考	入力された内容はこのような形でメールが届きます

STEP1 メール入力フォームの HTML に指定されたソースを記述します。

メール送信 CGI を起動するためには、メール入力フォームの HTML に指定されたソースを記述します。(HTML 解説は[こちら](#)をご覧ください)

ソース記述例

```

<HTML><HEAD>
<TITLE>メール送信</TITLE>
</HEAD>
<BODY bgcolor="#FFCCCC">

<!-- ここにメール CGI を起動するための記述をします。
以下は例であり、実際の CGI での記述とは異なりますのでご注意ください -->
<FORM METHOD="POST"
ACTION="http://business1.plala.or.jp/cgi-bin5/mailemail.cgi">

<!--次にメールを受信するアドレスを記述します----->
<INPUT TYPE="hidden" NAME="to" VALUE="mail@test.plala.or.jp">

<!--次にメールのタイトルを記述します----->
<INPUT TYPE="hidden" NAME="subject" VALUE="ホームページ感想">

<!--メールフォームの入力部分の記述開始----->
<FONT SIZE="+1" COLOR="#CC0000">○×株式会社のホームページへようこそ！
</FONT>

<P>ホームページの感想をお答えください</P>

<P>名前<BR>

```

```
<INPUT TYPE="text" NAME="name" SIZE="30">
```

```
<!--メール送信 CGI ではメールアドレスの項目は必須です。必ず「from」で指定します-->
```

```
<P>メールアドレス(必須)<BR>
```

```
<INPUT TYPE="text" NAME="from" SIZE="30">
```

```
<P>ご意見<BR>
```

```
<TEXTAREA NAME="comment" COLS="32" ROWS="4"></TEXTAREA>
```

```
<BR>
```

```
<!--メール送信ボタンを指定-->
```

```
<INPUT TYPE="submit" VALUE="送信">
```

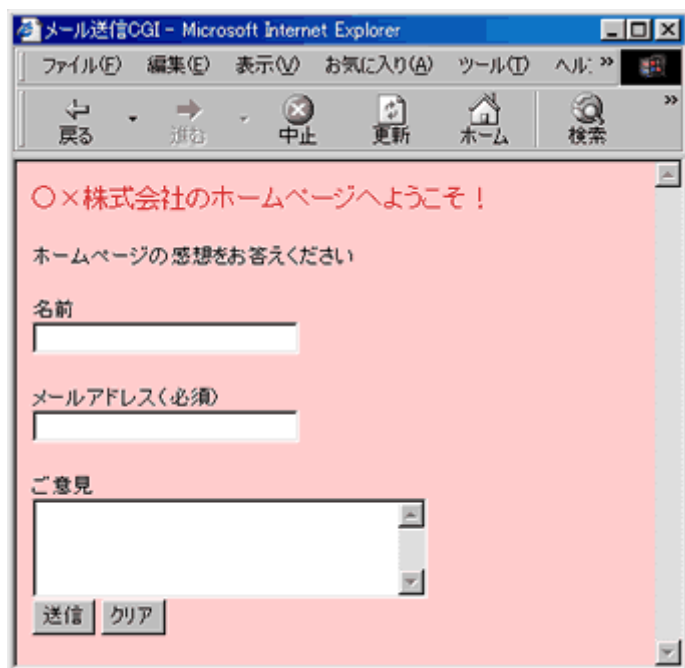
```
<INPUT TYPE="reset" VALUE="クリア">
```

```
<!--メール送信 CGI の終了を宣言します-->
```

```
</FORM>
```

```
</BODY>
```

```
</HTML>
```



上記の通りに記述をした HTML ファイルはブラウザで見ると以下ようになります。

<参考> 上記のフォームから入力された内容は以下のような形でメールが届きます

From: *****@*****.or.jp <-入力されたメールアドレス
Date: Tue, 9 Jun 1998 15:25:36 +0900 (JST)
To: mail@test.plala.or.jp <-CGI で指定した送信先のメールアドレス(自分のアドレス)
Subject: ホームページ感想
X-UIDL: 8fcaca8e3cae872577601e7dd7bf5dc2
NAME=ぷらら太郎
comment=こんにちは。ホームページ楽しく見せていただきました。

■HTML 解説<以下の項目をチェックしてください>

●<FORM METHOD="POST"

ACTION="http://business1.plala.or.jp/cgi-bin5/mailemailsend.cgi"> (必須)

この部分は CGI の置き場所を指定しています。

business2.plala.or.jp

business3.plala.or.jp

business4.plala.or.jp

academic1.plala.or.jp

academic2.plala.or.jp

academic3.plala.or.jp

academic4.plala.or.jp

をご利用の場合は適宜、business1.plala.or.jp の記述を置き換えてください。

●<INPUT TYPE="hidden" NAME="to" VALUE="mail@test.plala.or.jp"> (必須)

自分のメールアドレスを指定します。「VALUE」の部分はご自分のアドレスのものに変更してください。ここが空白のままの場合はエラーが出て送信することができません。

※メールアドレスは半角英数字でご記入ください。

●<INPUT TYPE="hidden" NAME="subject" VALUE="ホームページ感想"> (必須)

題名を指定します。ここは「TYPE=TEXT」という指定にしてユーザーに入力させることも出来ます。ただし、ここが空白のままの場合はエラーが出て送信することができません。

●<INPUT TYPE="text" NAME="from" SIZE="30"> (必須)

送信者アドレスを指定します。ここが空白のままの場合はエラーが出て送信することができません。

●<INPUT TYPE="text" NAME="NAME" size="30">

●<TEXTAREA NAME="comment" cols="32" rows="4"></TEXTAREA>

「入力項目」の形式と名前とサイズを指定することができます。入力項目のうち上記3つの「to」「from」「subject」(必須)は自動的にメールのヘッダ情報に使用され、それ以外の項目は本文に展開されます。入力項目には TEXT 形式だけでなく、CHECKBOX、RADIO など HTML で定義された全ての FORM の機能が使用できます。詳しくは HTML の参考書などをご参照ください。(入力項目は、上限 100 個まで増やすことが可能です)

上記の例では、「NAME」として送信者の名前を、「comment」としてホームページの感想を入力してもらうようにしています。(注:現在のバージョンでは、「to」「from」「subject」以外に一つ以上の項目を用意しないとうまく動作しないようです。)

●<INPUT TYPE="submit" VALUE="送信">

<INPUT TYPE="reset" VALUE="クリア">

この部分で「送信」「クリア」のボタンを定義しています。「クリア」ボタンはなくてもかまいません。

アンケート CGI

ネットワーク パスワードの入力

認証情報を入力してください。

リソース: ByPassword

ユーザー名(U): test

パスワード(P): ****

このパスワードを保存する(S)

OK

キャンセル

自分のホームページの特定のディレクトリにパスワード認証によるアクセス制限をかけることができます。

アクセス制限のかかったディレクトリにアクセスしようとする、下のような画面が現れて、正しいユーザ名、パスワードを入力しないと内容が見えなくなります。

作成手順	
STEP1	アクセス制限の設定を行う(画面の指示に従って自動的に作成できます)
STEP2	アクセスを許可するユーザ名とパスワードを登録します。
STEP3	アクセス制限の設定が完了すると、アクセスするたびに認証されるようになります。

1.指定された URL から、ユーザ名とパスワードを設定する

下の「アクセス制御ページ」にて設定をすると、正しいユーザ名／パスワードを入力しないと内容が見えなくなるようにアクセス制限をかけられます。

「アクセス制御」設定画面へ進む

*** ビジネスホームページをご利用の場合 ***

<http://business1.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

<http://business2.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

<http://business3.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

<http://business4.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

左の「アクセス制限設定専用ページ」にて、制限をするディレクトリを指定します。ここではすでに作成済みのディレクトリのみ、アクセス制限の指定ができます。

ユーザ名 (必須入力)	あなたのホームページ用の FTP アカウントネーム (FTP 用 ID)を入力してください。
パスワード (必須入力)	あなたのホームページ用のパスワードを入力してください。
制御したいディレクトリ (必須入力)	自分のホームディレクトリの中で、アクセス制限をかけたいディレクトリを入力してください。現在存在しているディレクトリのみ指定することができます。「.」と入力すると、ホームディレクトリ全体にアクセス制限をかけることができます。

*** アカデミックサーバをご利用の場合 ***

<http://academic1.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

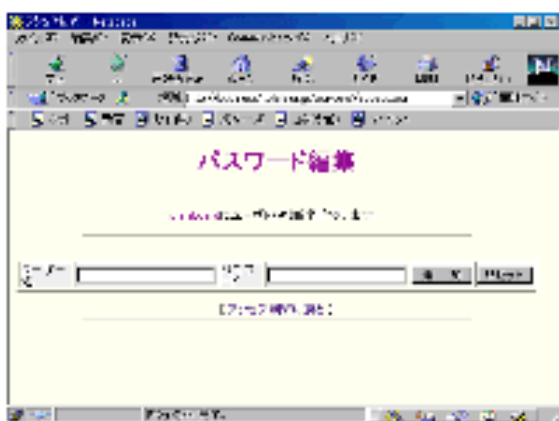
<http://academic2.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

<http://academic3.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

<http://academic4.plala.or.jp/plalacgi/acl.html>

2.アクセスを許可するユーザ名とパスワードを登録します

下の「パスワード編集ページ」にて、アクセスを許可する「ユーザ名」と「パスワード」を指定します。ユーザ名は複数の指定ができます。



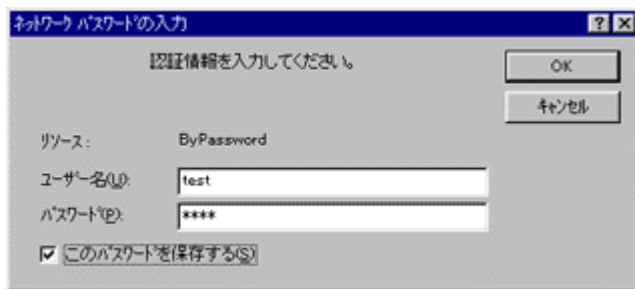
この画面では登録のほかに、ユーザ名の削除も行うことができます。

※なお、ここで使用する ID パスワードはぶららのログイン時に使用するものとは全く別のものです。ホームページ開設者が自由に設定することができます。

ユーザ名 (必須入力)	アクセス時に使用する ID を任意で設定してください。
パスワード (必須入力)	アクセス時に使用するパスワードを任意で設定してください。

ユーザ名、パスワードの設定が終わったら、そのディレクトリにアクセスしようとするとパスワード入力画面が現れます。

3.アクセス制限の設定が完了すると、アクセスするたびに認証されるようになります。



既にアクセス制限が設定されたディレクトリの内容を表示させると、過去に設定したユーザー名／パスワードが表示されます。

一つのディレクトリに複数のユーザー名を設定することができますので、ユーザー名を追加したり、削除したりすることができます。

<使用例>

友達だけの情報交換ページに一つだけユーザー名／パスワードを設定し、同報メールでみんなに知らせてアクセスしてもらおう。そしてパスワードは定期的に変更する。

アクセスする各人にユーザー名／パスワードを設定し、厳密な管理を行う。参加資格を失った場合は、そのユーザー名を削除する。

ぶらら掲示板にアクセス制限をかけることもできます。(ディレクトリ名称「plalaboard」)